



さくらんぼだよ

8月号

平成30年8月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリー保育園

暑かった！..大盛況の夏まつり

梅雨明けと同時にここ数年経験したことのないような猛暑に連日見舞われ、毎日温度計を見ながら、熱中症の心配をしていましたが、子ども達は、保育士の心配もなんのその、真っ赤に熟したスモモやブラックベリー、そして畑のトマト...等々、園庭で遊びながら、モグモグタイムを楽しんでいる子ども達です。カボチャも蔓を伸ばし事務所の前は、カボチャの葉っぱで緑のトンネルができていますが、そこにはまん丸に実った大きなカボチャが5個ぶら下がっています。炎天下はカナヘビにとってもきついようで、時折、このトンネルのところでくつろいでいることもあります。虫の大好きな子ども達に見つかる、くつろぎタイムも終了。やんちゃな子ども達につかまらないようにカナヘビ君もあっちこっち逃げ回っています。汗だくになっても元気いっぱいの子も。水分補給のために、エアコンで涼しくなっている部屋に入ると、麦茶をごくごく。おかわり~の連発です。一休みの後は、目前に迫っていた夏まつりの練習に励んでいました。

夏まつり当日は、猛暑と言われていたものの、太陽がちょっと雲に隠れてくれたおかげで、ジリジリと焼き付けるような暑さにはならず、暑い~！と言いつつも体調を崩すこともなく、何とかしのげてホッとしています。

夏まつりを親子で、そして地域の方達もみんな一緒に楽しんでもらい、まつりの雰囲気存分に味わってもらおうと、今までとはちょっと趣向を変えて行った夏まつり。0~2歳までの子ども達はかわいい子雀の衣装を身に付け、親子ですずめ踊りを楽しみ、また、3歳児は憧れの荒馬を付け元気いっぱい駆け回り、4歳児はそろいの法被を付けヤ~レンソ~ラン！とおおきな掛け声と共に手には鳴子を持ち、笑顔いっぱいだよさこい“よっちょれ”を披露してくれました。5歳児は和太鼓と共に一人のおともだちを乗せたおみこしを担いでワッショイワッショイと入場。和太鼓に取り組んだ日はまだ浅く、未完成ではありましたが、アンコールが出るほど力強い、子ども達の思いの伝わる和太鼓の音を響かせてくれました。子ども達に負けじとばかり、職員、保護者の方々も、様々な衣装で身を包み、昭和の懐かしい歌に合わせてダンスを披露！その後には、保護者、地域の親子の方々一つの輪になって“ウラジャ”を踊り、みんなで一緒になって楽しんだ夏まつりでした。

夜店の方も実行委員の皆様方のご協力のお陰で、おとなも子どもも楽しむことができました。これも、近隣地域の方々のご理解、ご協力があったの事、感謝いたします。本当にありがとうございました。

2018・8・1<園長 中館 和子>



お知らせ



<夏まつりご協力ありがとうございました>

7月21日(土)の夏まつりでは、実行委員の保護者の方々をはじめ、たくさんの保護者の方、地域の方々のご協力のお陰で活気ある楽しい夏まつりとすることができました。また、当日、ザリガニ釣り大会のために早朝から、ザリガニの捕獲に参集していただいた、おやじの会の皆様、ありがとうございました。

<合宿...スイミー組>



8月3日(金)~8月4日(土)にかけて、スイミー組の合宿を予定しています。詳細は、後日、お知らせします。

<草刈隊、ごろうさまでした>

7月14日(土)の早朝に西多賀三丁目南公園の草刈を予定していましたが、近隣にできた小規模保育園さんの依頼により、公園課の方で草刈りを行って来ていました。急遽、草刈りは、保育園の園庭に変更となり、小川まできれいに清掃していただきました。多くの方に、ご協力頂き、本当にありがとうございました。

おねがい

- ・夏季期間お休みする予定の方は、早めに送迎表に記入をお願いします。(給食食材発注のため)
- ・汗をかいたり、水遊びなどで着替えをすることが多くあります。・衣類、タオル等には必ず、名前を記入して下さい。

行事予定

8月		
日	曜日	行事
1	水	発育測定
3	金	合宿(5歳児 スイミー組)
21	火	食育ツアー(5歳児スイミー)
29	水	環境学習(川の生き物)

9月		
日	曜日	行事
4	火	発育測定
6	木	人形劇公演(劇団21)
7	金	おはなしの広場まつり実行委員会
14	金	お月見クッキング
18	火	誕生会
21	金	のはらまつり実行委員会
23	日	富沢マルシェ
29	土	のはらまつり





乳幼児期は、生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期です。この大事な時期を関わらせて頂いている私たちは、その責任の重さを感じながらも、子ども達が“今”を心地よく生き生きと過ごせるように、“人や自然との触れ合いの中で、やさしさ・たくましさ・生きる力の基礎を育む”という園の方針に基づいて日々保育を行っています。子ども達は、そうした中で、一挙手一投足、私たち保育士のすることすべてを見て、真似しながら過ごしていますが、いつも心のどこかで自分にとって安心できる、心の拠り所を求めているように思います。子どもにとっての一番の心の拠り所は、やはり、おとうさん、おかあさんです。そして、おとうさん、おかあさんが優しく抱きしめ、語りかけてくれるのをいつもいつも待っています。おとうさん、おかあさんに代わって、保育をしている私達は、そうした子どもの思いをくみ取りながら、絵本の読み聞かせをしたり、わらべうた遊び等を通して、子どもたちと真剣に向き合い、触れ合う事を大切にしています。

先日、ある講演会で、親子の触れ合いの大切さが話されていました。乳幼児期から、絵本の読み聞かせをしてもらったり、おとうさん、おかあさんに話しかけられたりして親子の触れ合いをたくさんしてもらって育ってきた子どもは、脳への刺激がたくさんあり前頭前野が大いに働くそうです。でも、やはり、最近では、この大事な親子の触れ合いがあまり見られなくなっているのでは？と思うことがあります。忙しい日々の中では、どうしても大人の都合でテレビやスマホなどに頼ってしまうことがありますね。歌ったり踊ったり楽しく見ているからとどこか安心してしまいがちですよね。でも、スマホなどでは、脳への刺激はあっても、前頭前野の働きをむしろ抑制してしまうそうです。前頭前野は人の気持ちを察したり、いろんなことに挑戦しようとする気持ちや、さあ！やるぞ！というやる気を起こさせるとても大事な働きをするところで、また、我慢する気持ち、集中力もこの前頭前野が働くからこそそのものだということでした。お手伝いなどをしてもらいながら、一日の出来事などを聞いてあげたり、子どもとの会話を楽しんだり、という触れ合い。また、一日のうちほんの10分、15分絵本を読んであげる・・・絵本の読み聞かせは親の愛を伝える絶好の機会と言われています。自分にだけ語りかけてもらえる最高の至福の時だと思います。そんな親子の触れ合いの時間を是非取ってみてください。



母と子の 絵本棚



「きんぎょがにげた」出版社 福音館
ごみ たろう ぶん・え

「きんぎょがにげた とににけた」ページをめくるたびにどっかに隠れている金魚を探すという絵本です。真剣になって探し、見つけた時は「いた～っ、ここ、ここ」と大興奮！子どもたちの大喜びの笑顔に、読んでる方も心が和みます。

「トマトさん」 出版社 福音館
たなか きよ さく



ある暑い夏の日、真っ赤に熟れたトマトさんが地面にどたっと落ちてしまいます。ミニトマトたちは小川へコロコロちゃぽ～ん…。大きなトマトを助けようと次々出てくる虫たちにも大興奮の子ども達です。園庭の畑に鈴なりになっているミニトマトとはちょっと違うトマトさんですが、お子さんと楽しんでみてください。

♪はやね はやおき あさごは～ん！！♪

毎日暑い日が続き、子ども達は、プール遊びを楽しんでいます。でも、保育園には、プール遊びの時の約束事があります。夜は、早く寝ること、朝ご飯をしっかり食べてくこと、パンやフルーツだけの時は✕になってしまいます、というお約束です。子ども達は、プールに入りたい一心で今のところ守っているようです。

規則正しい生活習慣は、子ども達の“心と体”を育てるうえで最も大切なこと。

子どもが自分から進んで取り組もうとする「やる気」はこの正しい生活習慣から生まれてくるということが脳科学の研究からわかってきているということです。

そして、「やる気」を起こすのに一番大切なのは、朝食習慣ということです。

今、子どものプール遊びのため、と頑張っているおとうさん、おかあさん、この機会にしっかり生活習慣が身につくよう継続していきましょう！



わらべうたであそぼう

♪あんずきだん きんだんこ♪

あずきだんこ きんだんこ
くるっとまわって きんだんこ

